

事例紹介22

足立区の自殺対策の取組

足立区では、従来から、うつ病予防を中心とした自殺対策を行ってきましたが、平成18年の自殺死亡者数が東京23区で一番多くなるなど、総合的な対策が求められていました。そこで、東京都からモデル事業の指定を受け、自殺総合対策として20年10月から「足立区こころといのちの相談支援事業」を開始しました。2年目を迎える平成21年は、5月に特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク（以下、「ライフリンク」という。）と提携を結ぶなど、対策の一層の充実に努めています。

1 ネットワークの構築

平成20年度から、庁内の対策組織として、関連所管の事務担当者を構成メンバーとした「庁内担当者連絡会」を設置し、情報の共有化を図っています。また、21年10月には、自殺対策ネットワークとして、ライフリンクとの協働により、警察、消防、ハローワークなど関連機関等と庁内関連所管を構成メンバーとする「足立区こころといのちの相談支援ネットワーク」を立ち上げ、連絡会を開催しました。

2 職員等のスキルアップ

平成20年度は、税や国民健康保険、福祉事務所など相談窓口職員を対象にした「ゲートキーパー^{*1}研修」やロールプレイなどを取り入れた実践的な「ゲートキーパーフォロー研修」を実施しました。平成21年の5月には、区長や区議会議員をはじめ全管理職、係長級職員など全職員等を対象にした「こころといのちの研修会」を開催しています。11月には、住民に身近なところで活動している民生委員や介護施設等の職員を対象にした研修会を予定しています。また、足立区版ゲートキーパー手帳とフローチャート形式の相談マニュアルを作成するための準備も進めています。

3 遺族に対する支援

自死遺族の会の設立に向けたシンポジウム「自殺による死別の痛みを抱えて」を平成21年6月にライフリンクと共催で行いました。7月には、「足立区分かちあいの会」の名称で会を立ち上げ、毎月第1金曜日夜間（午後6時30分～8時30分）に会を開催しています。

4 啓発活動

平成21年の3月に、毎年この時期に行われている「こころの健康フェスティバル」の中で、自殺対策コーナーを設け、パネル展示やリーフレット類の配布等を行いました。同時に、啓発用のリーフレットと相談窓口一覧表を作成し、関係機関等に配布しています（図1）。

平成21年9月には、東京都の自殺対策強化月間に合わせ、図書館や本庁舎1階アトリウム（ロビー）で、ライフリンクが作成した自殺対策のパネル展示等を行いました。また、区

〈図1 啓発用リーフレット(左)と相談窓口一覧(右)〉



（※1）ゲートキーパー：医療・福祉、教育、経済・労働、地域など様々な分野において、周囲の人の顔色や態度から自殺のサインに気づき、見守りを行ったり、専門相談機関などへつないだりする人材のこと

の広報紙やWebサイトで、適宜、啓発を行っていますが、22年2月には広報紙で自殺対策特集を組む予定です。

Webサイト

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/007/d05200032.html>

足立区衛生部衛生管理課計画調整 木村 弥生

電話番号 03-3880-5891

Eメール e-kanri@city.adachi.tokyo.jp

参 考

自殺防止のためのワークショップの開催

内閣府では、平成21年度より、自殺防止活動を行っている特定非営利活動法人国際ビフレンダーズ東京自殺防止センターの協力を得て、自殺防止のためのワークショップを開催しています。ワークショップは、ロールプレイを中心に、自殺を考えるほど絶望している人の訴えを「聴く」ための実践的な訓練を行うもので、平成21年度は全国6か所(札幌市、東京都、長野市、大阪市、堺市、福岡市)で、1日コースと2日間コースを開催しています。

〈1日プログラム(例)〉

09:30～10:20	オリエンテーション
10:20～10:40	感情に焦点をあてて聴く
10:50～12:00	人はどんなときに死にたくなるのか
12:00～13:00	休憩(昼食)
13:00～14:00	実習1
14:00～15:00	実習2「死にたい気持ちを尋ねる」
15:15～16:30	実習3「死にたい気持ちを尋ねたあと、どうするか」
16:40～17:20	本日の振り返りとまとめ
17:30	解散

ワークショップでは、「感情に焦点を当てる」ということや、「人との向き合い方」を学びます。

〈全体での自己紹介の様子〉



〈全体説明の様子〉

